

ます。元気なまちを作るには、まずは、商店街ににぎわいと集いが必要でございませす。また、我が市は外国人の割合が高いまちでございませす。多様な国の多様な文化を市民レベルで交流していくことは、まちの元気づくり結びつくものと考えますので、そうした面からも商工会や観光協会とも連携し、商店街ににぎわいと集いをつくり、活性化を図るための研究を進めたいと考えております。

◆スリムな市役所が元気

五つ目が「スリムな市役所が元気」であります。

福生市は、これまでも着実に行政改革を進めてきております。前市長の御努力によって、効率的、効果的な行政運営を進め、職員数の改善や給与の改善等を図って参りました。分権型社会における地方自治体には、従来からの課題への取組や改革手法にとどまらず、新たな課題に対応する取組が必要になってきております。

少子高齢化の進展や総人口の減少といった社会構造の変化や、男女共同参画社会の形成による社会環境の変化により、保育や介護といった、今まで私的な領域であったものが新たな公共的サービスへと変化し、また求められるようになってきております。また、この公共の領域の拡大に伴い、公共サービスの提供を市民自

らが担うという認識が広がるとともに、市民活動団体、NPO、民間企業など、公共サービスの担い手となるる主体が現われ、そのような市民等と協働する「新しい公共空間」が生まれてきております。同時に、市職員の意識改革と能力の向上も求められてきております。



広がる市民活動

福生市は、まちづくりの方向を自己選択、自己決定をし、そして自己責任を負えるという、自立した市民が暮らすまちを目指して参りました。その前提として大事なことは情報の共有であり、活発な議論であり、そして理解の共有であります。

べきと考えております。このようなことから、今後は、行政の事務事業は、行政でなければできない領域に特化し、スリムな市役所を目指して参ります。そして、まだまだ経験不足でございませすが、私が民間で培った発想を取り入れまして、既存の事務事業の見直し・点検をさらに行ない、行政が直営で行なうべきものを精査し、事務事業のアウトソーシングを進めて参ります。市民サービスの低下を招くことなく、こうした取組により、財政上の負担を減らし、市役所に元気を与えたいと考えております。

財政運営について

次に財政運営についてでございます。自立した自治体にとって、財政面での自立は、不可欠であります。今まで申し上げましたさまざまな施策を推進していくためには、その財源の確保が必要であり、そのために、財政の健全化を図っていかなくてはなりません。

基地問題について

次に基地問題でございます。横田基地につきまして、福生市にとって大きな存在であるとともに、基地対策は実に重い課題でございます。また、横田基地に関する東京都市圏と周辺市町連絡協議会との協議も行なう中で、市としての考えを決めていく必要があると考えております。

結び

さて、当面私が全力で取り組んでいかなければならないことは、福生市第3期総合計画の着実な遂行でございます。



「やすらぎ いきいき 輝く街福生」の実現に向けて

まちの話題①

ふっさ環境フェスティバルが開催されました

6月15日(日)に多摩川中央公園で「第6回ふっさ環境フェスティバル」が行なわれました。このイベントは、毎年6月の環境月間にあわせて開催しているもので、当日はさまざまな体験や展示コーナーに多くの人が集まり、環境について楽しく学びました。また、食品ブースではリユース(再利用)食器の利用により容器包装ごみを出さないようにしたり、同時に多摩川の河川清掃が行なわれるなど、参加者全員で取り組むイベントとなりました。

問合せ環境課環境係

当日の様子



©S/H

